

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	東京都未熟児網膜症多施設研究
研究責任者	舟木 俊成
研究機関名	日赤医療センター 眼科
研究目的と意義	近年、周産期管理の向上に伴い、出生体重1000g未満の超低出生体重児の生存率が高まり重症型未熟児網膜症が増加しているとの報告があります。超低出生体重児における未熟児網膜症(東京都多施設研究)の発症率、治療率は、2002年出生児では発症率86.1%、治療率41.0%、2011年出生児の報告では発症率82.7%、治療率29.0%であります。今回、東京都周産期病院眼科で出生体重1000g未満児の未熟児網膜症を前向きに登録し、未熟児網膜症の重症度で分類し、治療及び治療の合併症の検討、また全身合併症との関連を調査1.5歳時における発達検査の結果について検討する。
研究方法	対象:2020年1月~2022年3月までに当センターにて出生された出生体重1000g未満児 調査項目: ・未熟児網膜症の状態(未熟児網膜症国際分類) ・治療方法(光凝固、硝子体手術、網膜輪状締結、抗VEGF硝子体注射) ・治療後経過(瘢痕期分類) 眼科診療録をもとに、上記項目を新生児科データと併せて解析・分析します。 なお、個人が特定されることはなく、研究に参加を希望されない場合に診療に不利益はありません。もし研究への参加をご了承頂けない場合は、下記問い合わせ先まで御連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:眼科 舟木 俊成 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604